

設計・計画部門



たなべ しゅんさく
田辺 俊索

生年月日 1984年2月東京都生まれ
最終学歴 2009年東京電機大学大学院工学研究科建築学専攻
業務経歴 2009年大林組入社
現在、大阪本店建築事業部建築設計第二部主任
●担当した主なプロジェクト
2013年 姫路獨協大学外構・外壁改修
2014年 トヨタカローラ南海金岡新店舗
2015年 ローム本社増築

■青年技術者のことば

一時をとらえる建築

建築は「時」を創ることであると私は常に考えている。建築がそこに建つことで、その土地に人々の思いや営みを、歴史として刻む。ある一時を見つめるのではなく常に、過去、現在、未来の時間軸を意識することが設計者として必要である。

設計者とクライアントとの間で、これまでの歴史と未来へ寄せる思い、夢を共有し深める。そうした集大成として、建築を創ることで、長い時間愛され、使い続けられる中でその時々で輝けるものを目指していきたい。

ひとつの建築が完成するまで、計画、設計、工事監理と内容は多岐にわたり、それぞれの場面で、困難や苦勞に直面することも数多い。今回挙げた2つのプロジェクトは特にそれらが通じて実を結び、完成後にクライアントから満足の声を頂き、自分の設計した空間に、お客さんや車が入り、学生が憩う風景を見て、新たな「時」の始まりを感じることができた。

■すいせん者

高橋 洋
(株)大林組 大阪本店 建築事業部部長



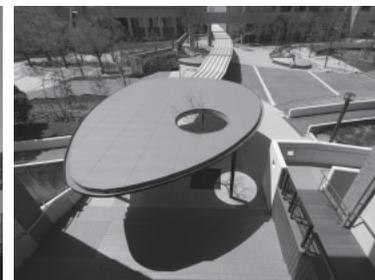
トヨタカローラ南海金岡新店舗

展示スペースと商談ルーム、整備工場を併設した、幹線道路沿いに建つカーディーラーショップである。幹線道路からの視認性と、お客様を引き込む親しみやすさがデザインのテーマとなった。

敷地が広く、必要機能をすべて平面で積層することなく構成することができるという、既存店舗には少ない形態の特徴を持った今回の計画は、屋根形状を自由に構成することができ、建築を構成する重要な要素となった。

検討を重ね、商談ルームから屋外の展示場までを一体に包み込む、斜めに張り出す1枚の軒天が特徴のデザインとした。この軒天は、内部の商談ルームと外部の展示場の連続感を生みだし、展示車両と来客者の距離感を縮めることに寄与する。また道路からは軒面がファサードの大きな構成要素となり、視認性を高めた。

建物外観を実現するためには、構造、設備部門との協働も行い、特に、軒天のはね出しの片持ち架構の実現と、天井懐度を設備スペースとして活用する等の工夫を盛り込んでいる。



姫路獨協大学外構・外壁改修

兵庫県の大学キャンパスにおける開校時の姿から学生の居場所の創出とイメージの刷新をねらいとした、外構と外壁の改修計画である。「水」「森」「野原」の3つをテーマを持ったテラスと、それらをつなぐキャンパスストリーム（水景）を提案し、潤いのある学生の集いのスペースを創出した。